

カタクチイワシ卵稚仔出現状況

(2012. 5-1号)

香川県水産試験場 益井

TEL: 087-843-6511

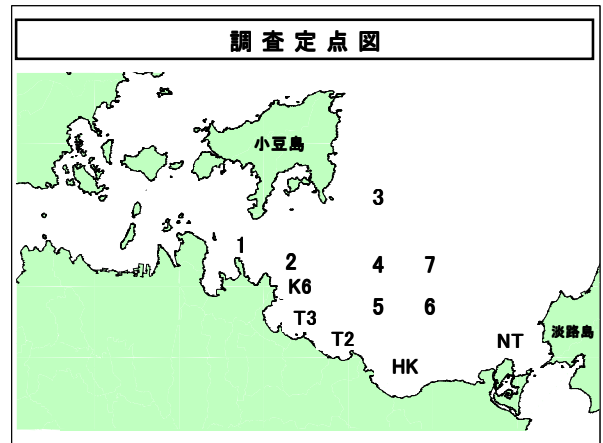
調査方法

調査日: 2012年5月2日

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点

(調査定点図参照)

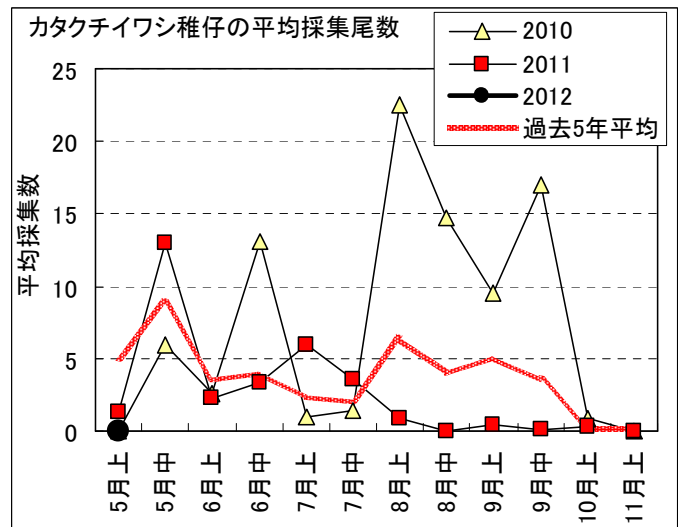
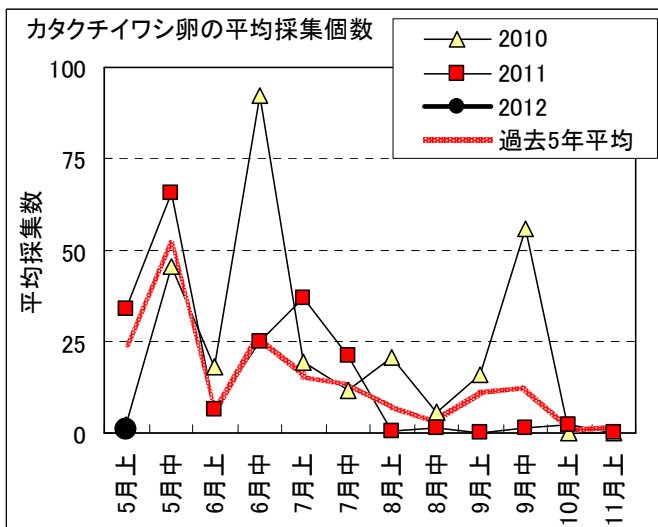


【カタクチ卵】 定点別出現数

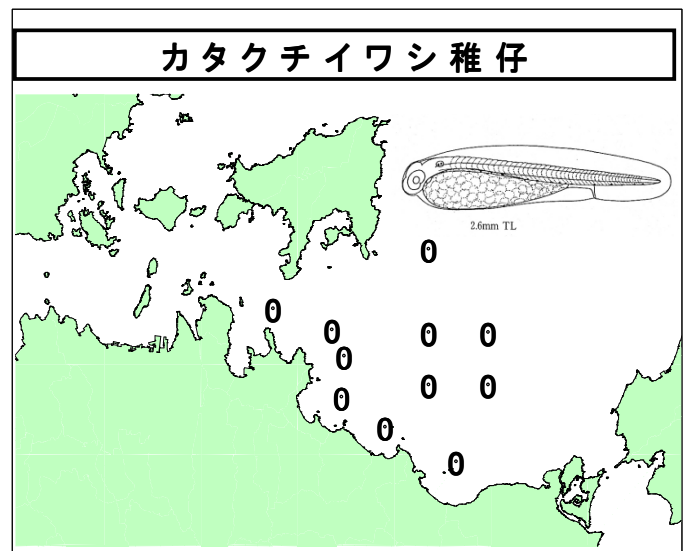
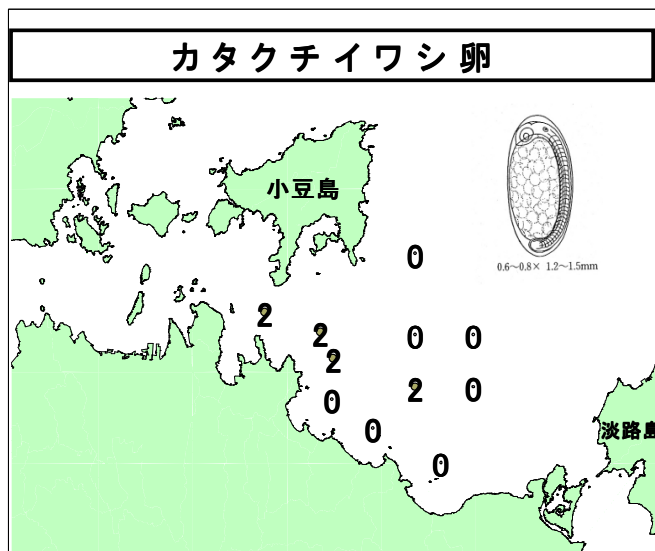
年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2009.5.8	84	39	2	9	218	84	4	161	145	36	1	71.2
2010.5.7	0	0	1	0	1	10	9	0	0	1	0	2.0
2011.5.9	0	103	42	6	96	3	2	6	5	8	103	34.0
2012.5.2	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0.7

【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2009.5.8	14	13	5	12	21	127	30	22	2	7	7	23.6
2010.5.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
2011.5.9	0	2	0	4	3	0	0	2	0	0	3	1.3
2012.5.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0



* グラフの値は播磨灘11定点における平均値を表す。



播磨灘11定点における卵の平均出現数は約 0.7個、稚仔の平均出現数は0尾で、昨年及び平年の同時期を下回った。

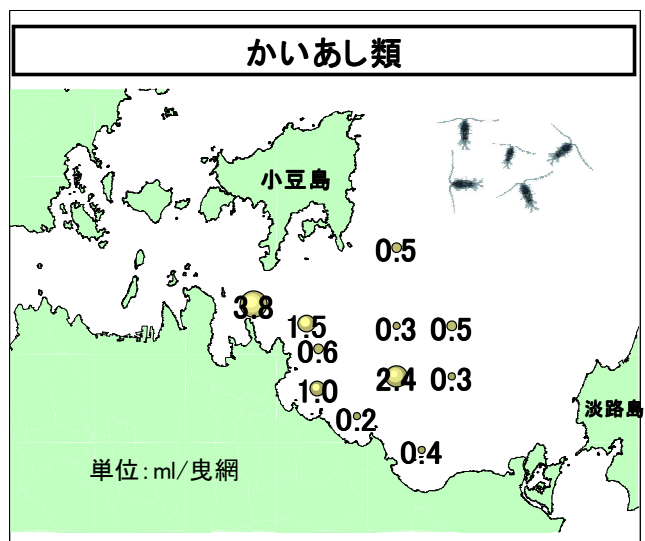
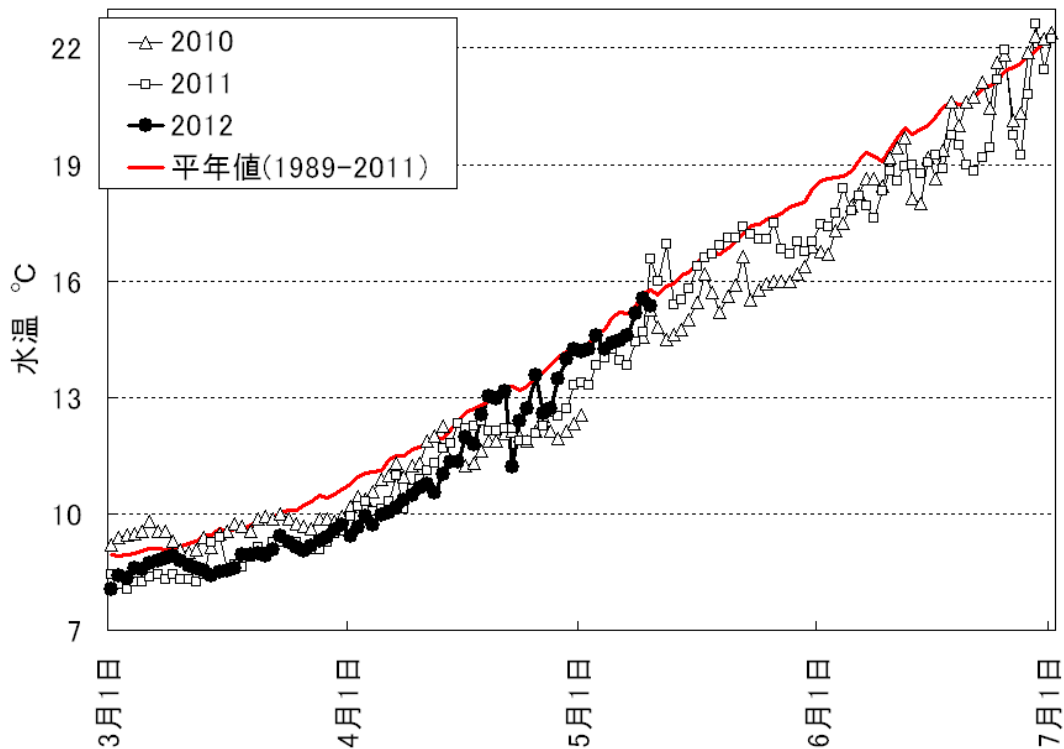
引田沖の水温ブイによると、年明けから4月中旬頃まで総じて平年を下回って推移していたが、4月下旬以降は概ね平年並みで推移している。

播磨灘沖のプランクトンはノクチルカ(夜光虫)が優占しており、餌料生物として重要なカイアシ類は少ない状況。

徳島県の情報によると、シラス漁はマイワシシラスやウルメシラスが主体で、カタクチシラスはあまり獲れていない模様です。

【参考】

引田沖水溫ブイデータ(午前9時, 1.5m層)



※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>